

令和元年度第9回2月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 令和2年2月12日(水) 午前2時00分

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員6名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	委員	竹内明子
	委員	白幡冬彦
	委員	古口 悟
	委員	藤澤 勝
	委員	富田哲夫
	委員	小祝章二

局側出席者名	代表取締役社長	大塚幹夫
	報道制作局長	川島育郎
	編成部長	大谷佳久
	ディレクター	加藤拓也

4. 議 題

(1) 「アクセント 特殊詐欺防止特集」について

12月24日(火) 13:00~15:55

ディレクター 加藤拓也

(2) その他

5. 議事内容

(1) 「アクセント 特殊詐欺防止特集」について

12月24日（火）13:00～15:55

ディレクター

加藤拓也

試聴番組：放送した番組を予め試聴。

議題説明：加藤が番組の企画・制作内容について説明した。

平日午後のワイド番組「アクセント」を1日特別番組として依然減らない特殊詐欺について放送。詐欺グループの実際の音声やパーソナリティ・リスナーの体験談などを放送しながら、県警の担当者や弁護士をスタジオに招いて手口や対策を解説してもらった。などと番組内容を説明して審議に入る。

各委員からは、

- 想像以上のことを知らせてくれた。高齢者だけの問題ではなく根が深いことが分かった。良い番組だが、放送時間が長いので、一部しか聴くことが出来ないリスナーもいるのではないか。短い時間で何日も放送するのが良い。
- 1時間程度の番組に凝縮しても良いのではないか。実際の音声を様々な人に聴いてもらいたい。
- 啓発番組としてとても良かった。実際の音声はとても効果的だった。県警の担当者の話がとても聞きやすかった。実体験は経過がもう少しわかりやすいと良い。
- いい番組だった。消費生活センターなどの連絡先を知らせてほしい。受け子になる若者の罪の意識が薄い。被害者となる中高年だけでなく、若者に向けて犯罪だとわかるように伝えることが出来ればもっと良い。若者向けの番組があっても良い。
- 内容が良かった。時間帯を工夫していろいろな年代に伝わるようにして欲しい。青少年への啓発も必要かと思う。
- わかりやすく時代をとらえた良い番組だ。放送時間は長いので、何回かに分けて放送するのが良いのではないか。
- こうした啓発番組はとても良い。機会があればもっと増やしてほしい。ゲストの解説がわかりやすくてとても良かったが、弁護士の発言がもっと多くあっても良かったと思う。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(令和2年2月23日(日) 午前8時5分放送)

② 社のホームページに掲載(令和2年2月22日～)

③ 社事務局に議事録備え置き(令和2年2月22日～)

以上